

1. シンポジウムの概要

- 1) 第5回放送利用の大学公開講座シンポジウムは、放送教育開発センター及び財団法人民間放送教育協会の主催で、熊本大学及び熊本放送を主管機関として、昭和63年2月18日（木）、19日（金）の2日間、熊本市「ニュースカイホテル」において、16大学、18放送局その他関係諸機関から約185人の参加を得て、別紙のプログラムにより開催された。
- 2) このシンポジウムは、二つのセッションにより構成され、第1セッションにおいては、「放送公開講座の番組の制作と活用について」をテーマとして、昭和62年度に放送公開講座を実施した各大学及び放送局の責任者から、講座のねらいと実施状況、番組の構成と制作過程、大学の授業等への活用及び今後の課題等について報告が行われ、特にテレビ番組については、制作に当たって工夫した場面、特色のある場面等を、6～7分程度に編集したビデオを使って報告が行われた。

これらの報告を踏まえ、会場の出席者の参加も得てよりよい放送公開講座の番組の制作及び活用の在り方について討議した。

- 3) 第2セッションにおいては、「生涯学習と大学教育の接点を求めて」をテーマとして、大学教育の開放の視点から生涯学習への接点を求めた「放送公開講座番組」と、生涯学習の視点から大学教育への接点を求めた「実験番組」とを手掛りとして、パネリストからの意見、3種類のモニターへのアンケート調査結果及び第1セッションの討議を踏まえ、会場の出席者の参加も得て討議が行われ、生涯学習への活用と大学教育への活用という二つの課題に適応した放送公開講座の在り方を探った。

※ ここでは、このシンポジウムの実施報告として、第1セッションにおける討議部分（各大学、放送局の責任者の報告については、この実施報告書のP. 41～P. 230に、「Ⅱ. 昭和62年度大学別実施報告」として掲載したものを参考にされたい。）及び第2セッションにおける各パネリストの報告及び討議の内容等についてとりまとめ、掲載した。